

平成19年度「ことばであそぼう推進事業」実施要項

1 趣旨

思いや考えを書く活動を通して言葉(国語)への好奇心をもたせるとともに、言葉(国語)のよさに気付かせて、相手を理解したり自分を表現したりする力などの「国語力」を育成する。

2 実施期間

平成19年度～平成21年度までの3年間

3 対象

県内公立小学校の1年生～3年生

4 内容

(1) 計画及び内容

	平成19年度	平成20年度～
5月	「ことばであそぼう推進事業リーフレット」の作成	【各学校での取組】
6月	「ことばであそぼう推進事業リーフレット」の配布 【各学校での取組】	「ことばであそぼう推進事業リーフレット」を活用し、「ことばカルタ」づくりや「絵てがみ」づくり、「漢字一字からの思い」づくりを行い、11月の教育月間に作品の校内展示を行う。
7月	「ことばであそぼう推進事業リーフレット」を活用し、「ことばカルタ」づくりや「絵てがみ」づくり、「漢字一字からの思い」づくりを行い、11月の教育月間に作品の校内展示を行う。	
11月		
2月	2月に各市町村教育委員会を通して各学校から参考作品を募集する。作品については、茨城県スクールネットに掲載する。	

(2) 「ことばであそぼう」の活動内容

【小学校1年生】 「ことばカルタ」づくり(学期に1回)

- 一つの言葉に対して、その言葉を使った文(文章)と絵を「カルタ」の形式でつくることを通して、楽しみながら言葉の使い方を身に付けさせたり、国語(言葉)への好奇心や感性を育てたりするとともに、友達とのカルタ遊びの交流を通して、国語の魅力やおもしろさについて話し合い、言葉を楽しむ場をつくる。
二学期制の学校においては、三学期制の学校に合わせて年3回とする。

【小学校2年生】 「絵てがみ」づくり(月に1回)

- 生活の一場面を、言葉と絵を使って、見たことや感じたこと、季節感など、言葉が表す情感を意識して豊かに表現したり、生活科や他の活動でお世話になった方に対して、お礼や感謝の絵手紙を書くなどして、楽しみながら言葉の使い方を身に付けさせるとともに、国語(言葉)への好奇心や感性を育てる。

【小学校3年生】 「漢字一字からの思い」づくり(週に1回)

- ・ 児童が、自分で選んだ漢字一文字について、短作文を書き、思いを深めることで、書写の活動を意欲的に取り組み、「書く・書写・話す」の一連の言語活動を実践する。

(3) 作品の展示・発表

各小学校において、教育月間に作品の校内展示を行うなど、発表の場を設けることで、活動したことに児童が成就感をもつことができるようにしたり、お互いのよい作品を見合うことで、児童相互に学習を深められるようにしたりする。

2月に各市町村教育委員会を通して参考作品を募集し、作品については、茨城県スクールネットに掲載する。